

付・2008年度 尾道大学尾道学講座紹介

『おのみち今昔』

主催：尾道大学地域総合センター

日時：5月14日（水）～6月11日（水）

開場18：00

講演18：30～20：00

場所：しまなみ交流館 大会議室

第1回 5月14日（水） 灰谷謙二（芸術文化学部日本文学科）

「『しまなみ海道』と瀬戸内海方言の東西流通」

瀬戸内のことばと文化は東西南北に交流する。しまなみ海道開通が尾道・今治線の方言にどう影響したのかを検証し、地域の変化と言語の接触・干渉のありかたを考える。

第2回 5月21日（水） 田村禎英（芸術文化学部美術学科）

「尾道ベッチャー祭り考」

尾道ベッチャー祭り二百周年を期に収集した資料や研究を基にし、他の祭りとの比較から尾道ベッチャー祭りの起源や秘密に迫る。二百年祭の模様を記録した映像も上映。

第3回 5月28日（水） 小野 環（芸術文化学部美術学科）

「尾道と美術活動～活動の紹介と今後の展望～」

2008年夏に千光寺南斜面を中心に開催したアーティストインレジデンス「AIR ONOMICHI」の活動報告および今後の尾道における美術活動の可能性と展望についてお話しします。

第4回 6月11日（水） 山口三十四（経済情報学部経済情報学科）

「人口減少時代の尾道経済」

高齢化や人口減少が全国より遥かに急速な尾道経済の、今後の生き方を検討する。内容は高齢化と造船ブーム、スローフード、地域振興、三位一体の改革や道州制等を絡めたものである。